

6月23日（土） 暫定版

時間	A会場	B会場	C会場
	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】
9:30 - 9:45	エシカル消費を題材にした環境教育（ESD）の実践 飛田 満	児童生徒の喘息被患率推移と大気汚染指標の関連性についての検討 <複合化する光化学オキシダント公害についての考察第二報> 木村健一郎、権上かおる	福島原発事故の被害回復に向けて：震災8年目の現状と課題 除本理史
9:45 - 10:00	ESD展開を視野に入れた地域資源の教材化—沖永良部島と群馬の桑茶を事例として— 萩原豪・豊田正明・美藤信也・佐久間貴士	産業道路とその後背地におけるPM2.5の風向別汚染濃度の比較調査 神戸 治夫	移入種ホンドテン（Martes melampus）が佐渡の固有種に与える生態的攪乱及び生物多様性への影響 後藤 唯
10:00 - 10:15	大学生に対する農作業を通じた地域理解とESD展開 豊田正明・萩原豪・美藤信也・佐久間貴士・野村卓	PM2.5の常時監視における「マイナス値」発生と“基準達成”の不思議 神戸 治夫	「戦争する国造り」反対の最前線 辺野古新基地建設への非暴力抵抗と名護市長選挙 杉浦公昭
10:15 - 10:30	情報系科目を通じた地域志向教育研究活動とESD展開への可能性 佐久間貴士・萩原豪・豊田正明・美藤信也	公害裁判被告敷地に建設する石炭火力発電所と住民運動 伊藤章夫	国連のシンクタンク国連大学を活用して非SD的国際政治を改革する具体的提案 天谷和夫
10:30 - 10:45	地域資源を教材としたESD展開と地域振興の可能性 美藤信也・萩原豪・豊田正明・佐久間貴士	NO2測定簡易月間計による道路開通前後の比較試験 鳥居雪子、鈴木一義	環境調査のための各種簡易測定法とそのSDGsへの活用 天谷和夫
10:45 - 11:00	休憩		
	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】
11:00 - 11:15	地域資源に関する環境啓発に向けて～神奈川県秦野市の水資源を事例として～ 田邊幸歩	金属加工工場隣接住宅内空気清浄機フィルターの分析結果 ○新浜勉、中口護、後藤隆雄	金目川水系におけるネオニコチノイド系農薬の流出実態と水環境中のリスク 梅津麻衣
11:15 - 11:30	専門高校農業系学科におけるライフサイクル思考を取り入れた体験型環境教育の評価～総合実習におけるネギの栽培およびCFP試算を事例として～ 津野佑規、長谷川英夫、水島智史	西日本エリアの電力脱炭素化、変動性再生可能エネルギー大量連系による電力需給調整解析 竹濱朝美、歌川学	農業用水基準から見た水生植物群落を有するため池の水質 近藤雅秋、○岩倉朱里、加治佐隆光
11:30 - 11:45	アクティブラーニング手法を用いた環境・エネルギー教育の実践～学生の専門性の違いにみる原発再稼働賛否に関する意見変化～ 高野拓樹	西日本エリアの電力脱炭素化、変動性再生可能電源の大量連系による電力需給調整解析 竹濱朝美、歌川学	鉄鋼スラグ埋立ため池土手から溶出し、水路に流出した汚泥 後藤隆雄
11:45 - 12:00	ハウレンソウに含まれる硝酸イオン濃度の減少に対する屋上栽培と竹パウダーの効果 園部雅	国立環境研究所の大気汚染データベースの矛盾の原因とその解析 天谷和夫	三重県紀北町の汚染土壌処理施設建設問題 畑 明郎
12:00 - 12:15	インセンティブと環境倫理 柿沼美穂	環境調査のための簡易測定法と関連技術の進歩に伴う市民活動の新しい展開についての考察(題目訂正の連絡あり、市民科学) 天谷和夫	築地市場の豊洲移転問題 畑 明郎

12:30 - 13:30 幹事会（暫定）
13:30 - 14:30 総会（暫定）
14:45 - 15:00 休憩
15:00 - 17:45 シンポジウム（暫定）
18:00 - 20:00 懇親会（暫定）

6月24日（日） 暫定版

時間	A会場	B会場	C会場	
	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	
9:00 - 9:15	多方面から農業生産環境を支える - 2016干し柿シンポジウムの報告 - 林 節男	工業県の温室効果ガス排出の動向 - 岡山県GHG制度によるデータ分析 歌川学、上園昌武、塩飽敏史	四日市市内・海蔵川の水質汚濁について 武本行正	
9:15 - 9:30	環境教育にイタイイタイ病発生源対策の紹介 - 神岡鉱山の例 - 林 節男・畑 明郎	山陰地域の家庭エネルギー消費実態 上園昌武	汚水浄化用簡易接触曝気法の試験結果 武本行正	
9:30 - 9:45	先進国ドイツにおける市民科学プロジェクトの現状 ○宮下（オースターマン） 絵夢フェリチタス、Nadja Pernat、渡邊泉、尾崎宏和、Doreen Walther、Helge kampen、ベリングラート木村園子ドロテア	ベトナムにおけるリビング滞在の省エネルギー効果について 王 陳ロウ、近藤 加代子、井上 朝雄、加藤 尊秋、包清 博之、畢亦凡	自動車リサイクルの国際化と関連産業の立地変容 浅妻裕	
9:45 - 10:00	様々なステークホルダーによる市民科学の捉え方、それらによる国際的なネットワークワーキング ○宮下（オースターマン） 絵夢フェリチタス、Nadja Pernat、渡邊泉、尾崎宏和、Doreen Walther、Helge kampen、ベリングラート木村園子ドロテア	自然エネルギーの防災利用に発展性はあるのか 阿部博光	中国の都市生活廃棄物に関する住民意識と政策 北川秀樹	
10:00 - 10:15	休憩			
	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	
10:15 - 10:30	産廃不法投棄問題と市民科学 - 四日市市大矢知・平津事案を通して考える - 栗屋かよ子	日本と欧州における都市公社による再生可能エネルギー事業の比較 豊田陽介	ヒートアイランド現象における冷房使用の対立と緩和について - 福岡市民調査より - 陳 宇霖、近藤 加代子、Leslie Mabon、包清 博之	
10:30 - 10:45	NO2月間計による市民の測定運動 伊藤章夫	日本における地域熱供給の課題 佐藤高晴	廃棄物処理の観点からみた街路樹落葉の堆肥化 - 広島大学東広島キャンパスにおける事例 - 小倉亜紗美	
10:45 - 11:00	スマートフォンを用いた国際連携による市民科学プロジェクト - City Nature Challenge 2018への取り組み - 戸金大・小堀洋美・咸泳植	国際太陽同盟（ISA）とインドのSolar Project 和田幸子・和田武	埼玉県「くぬぎ山」地域の産廃業者周辺における処理形態変化前後の重金属汚染実態比較 尾崎宏和、一瀬 寛、北浦恵美、森 斌、前田俊宜、依田昌幌、柳沼佑貴、久野勝治、渡邊 泉	
11:00 - 11:15	webを用いた多摩川下流域における外来植物群落を対象とした市民科学の実践 小堀洋美・咸泳植・千石遼介・山岸陸・中西修一	木質バイオマスエネルギー利用の現状と課題 和田 武・和田幸子	大都市と周辺での地中巨大電力ケーブル設置のハイリスク 後藤隆雄	
11:15 - 11:30	国際的な生物多様の市民科学のプラットフォームiNaturalistを用いた日本での検討と展開 小堀洋美・戸金大・Hossein Vahidi		自然共生社会の国際規範をめぐる諸アクターの対応 横田匡紀	
11:40 - 12:10	ポスター発表（コアタイムは11時45分から12時00分）【座長：山田二久次】			
11:30 - 13:00	昼食			
		【座長：依頼中】	【座長：依頼中】	
13:00 - 13:15		低炭素発展戦略とカーボンバジェット 上園昌武、近江貴治	沿岸域統合管理の日米比較から環境政策を考える 高山 進	
13:15 - 13:30		地域カーボンバジェットの算出～手法開発と課題・展望 近江貴治・上園昌武・歌川学	中国華南地域における環境政策と環境ビジネス 八木 正	
13:30 - 13:45		塩ストレスが塩生植物キヌアの塩囊細胞中のNa及びK含有量に及ぼす影響 町田尚大、井上稔二、大島宏行、加藤 拓、前田良之	大阪市中之島の景観保全運動に関する歴史研究 大森賢人	
14:00 -	自主企画セッション			
	代表：上園昌武 地域エネルギー・ガバナンス	代表：栗屋かよ子 メガソーラー計画と住民自治	代表：知足章宏 若手発表セッション	学内エクスカッション 代表：梅崎輝尚

6月24日（日） 暫定版

ポスター発表（11:40 - 12:10） 【座長：山田二久次】

ため池に繁茂する浮葉植物による被度の定量化と変化 近藤雅秋	人口密集域における里川像～多自然川づくりの事例をふまえて～ 望月 嘉人	北欧諸都市におけるSPM(浮遊粒子状物質)の現状 中山榮子
市民科学プログラムの実践：鶴見川流域の水質調査を事例として 咸泳植・小堀洋美	ごみ分別の啓発に関する実践授業の試み～沖縄県宮古島市の小学校の実践～ 染谷侑	簡易目視法基準測定器による粒子状亜硝酸塩の測定による大気汚染行政の改革 天谷和夫
生物多様性保全のための情報通信技術（ICT）を用いた市民科学プログラムの開発と実践のためのアンケート調査報告 咸泳植・千石遼介・山岸陸・小堀洋美	NPO法人所属の学生会員と連携した環境教育～企画実施までの経緯を含めて～ 鶴田怜志	